

ニュースレター 「SDGs・ESDをひろげるための“ちば”拠点づくり」

開催報告 第2回拠点づくり会議

日時：11月20日(月) 13:30~15:30

場所：千葉県教育会館 202会議室 Zoom 出席：会場：15名 zoom：8名

ファシリテーター：石井雅章氏 神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部 教授

内容：

①第1回会議ふりかえりでは、「お互いの活動内容など深掘りできたら良い」「まず動き出すのも必要」などの意見を共有しました。

②夏休みユースボランティア活動報告では、だより153号を参照して報告し、特に参加者につながる広報について意見を出し合いました。

・2023年のユースボランティアの活動は、受け入れ5団体・15プログラム、ユース申込42名・報告書提出22名。

・高校生への募集案内を、受け入れ団体近隣の高校生物部へ送るとよい。／・情報を送る先は、中学生・高校生は総合的な探求学習担当者宛もある。／・大学生は目的が合致していれば参加する。ゼミの担当者へ送る。／・受け入れ団体側で、受け入れ目的(必要性)が明確であることが必要。／・高校の生徒会に繋がった。→事務局から県内高校へ募集・報告など配信して欲しい。／・募集プログラム一覧がカレンダー方式になっていると見やすい。

③拠点のあり方については、会場とオンラインに分かれ、各自の活動紹介もかねて話し合った。

④コア拠点での具体的なアクションとして、事務局より以下の事業の案内を行った。

1) ESDプログラム体験会

・北拠点：浦安(親子初めてハゼ釣り教室：2018年度ESDプログラムガイドブック掲載)
(浦安三番瀬をもっと知りたい！：2019年度ESDプログラムガイドブック掲載)

・南拠点：市原(生命の水と旅して水マップをつくろう！)2020年度ESDガイドブック掲載)

2) ESDの視点を入れたESDプログラムハンドブックについて

・ガイドブックを基に、よりわかりやすく、体験者の声も入れる等見やすくする。

・2024年3月完成。

3) ESD地域リーダー研修会案内

・2024年2月3日(土)~4日(日)(1泊2日)

・大房岬自然の家

今回は、それぞれの団体活動を有意義に広く知ってもらうこと、多様な主体とつながり、SDGs、ESDの人づくりなど検討していきます。

開催報告 第3回拠点づくり会議

日時：2024年3月9日(日)午後 13:00~14:00

会場：千葉市生涯学習センター小ホール 参加者：18名 (14団体)

ファシリテーター：石井雅章氏(神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授)

コア拠点会議は、14:30からのSDGs・ESD公開フォーラムの前に開催しました。

今後に向けて、具体的な事業について野当会の提言を協議し、当会と拠点メンバーと一緒に進めて行く事とし、後半のSDGs・ESD公開フォーラムで提言を発表しました。

※提言はSDGs・ESD公開フォーラムの記事をご覧ください。

開催報告 第1回 SDGs・ESD ちば南拠点の会

日時：11月28日（火）10：00～12：00

場所：岩井駅前交流拠点 boccs（ボックス）南房総市市部 125-13 出席：3団体（5名）事務局（2名）

内容：

①活動報告

- ・第2回コア拠点会議開催報告 / ・SNS研修会

②協議

- ・南拠点会議メンバー近況報告及び拠点の活動へ向けて意見を出し合いました。
- ・出来るところから動き出してみる。
- ・活動してみてわかったこと。高校生は市域を越えて通学しているので、お互いのまちを繋ぎやすい
- ・太房岬、ホテル他との連携なども、今後も継続の方向などを視野に入れる。
- ・次年度へ向けて、集まる場を具体的に進める。

③事務局よりお知らせ

南拠点の会の会議は、2023年度は初めてとなりました。日程調整もできないまま開催となり、メンバーのご都合がうまく合わず、参加者が少なかったのが残念でした。反省として、今後日程調整を事前にする。また、新しい団体などへも積極的にお誘いするなどしていきます。

開催報告 第2回 SDGs・ESD ちば南拠点の会

日時：2024年2月4日（日）12：30～14：00

場所：大房岬少年自然の家（南総市）

出席：8名（7団体）スタッフ（2名）

内容：

ESD 地域リーダー研修会を2月3日、4日の2日間、南房総市大房岬自然の家で行いました。丁度南拠点の会のお膝元でもあるので、急遽南拠点の皆さまに呼びかけて集まっていたいただき、研修会の昼食時間を活用してのランチミーティングとなりました。約1時間30分でしたが、久しぶりに合う人、新しく参加された人と、実情など共有しての有意義な時間となりました。

主な意見は下記になります。

- ・初めて参加された「ひらおかサステラス」は、袖ヶ浦市で活動している。市民上映会を開催し、多世代や、国籍が違う人との交流などの活動をしている。
- ・活動はコロナ前に少しは戻りつつあるが、学校が活動への参加等を減らしてきている傾向も見られる。
- ・地域で活動しているいろいろな団体との、ゆるいネットワークができつつある。具体的には、定期的な活動でなくて必要があれば集まる。活動の分野も環境保全、街づくり、事業者など多様な人との繋がりを持ち、お互いに活かし合えるように持っていく。
- ・南房総市は2006年に7町村が合併して出来て18年になり、大分なじんでは来ているが、未だ過去の町民意識が残っているのもあるので、世代を超えた繋がりを持てるようにしたい。そこには若い人、高校生などが地域を繋ぐ役割を果たしてくれると期待している。
- ・世話人環境パートナーシップちばへ期待する事として、南拠点で活動して情報を広く拡散する。活動の参考になるセミナーなど開催してもらいたい。



SDGs 学生フォーラム in ちば

「SDGs でつながる 学生ネットワークを作ろう！！ ～ボランティアを日常に～」

日 時：2024年2月18日(日) 9:30～11:30

会 場：千葉県教育会館(新館) 401 会議室、オンライン 千葉市中央区中央4丁目13番10号

募 集：会場 33人 オンライン：3人

内 容：Ⅰ部 活動紹介

学生団体おりがみ。りこボラ！（環境チーム、子ども・教育チーム、福祉チーム）。

東京湾連絡網。早稲田ロドリグス。小金高校オーシャンズ。IVUSA。あおぞら図書館。

Ⅱ部 意見交換会

3年目となる「SDGs 学生フォーラム in ちば」は、「SDGs でつながる 学生ネットワークを作ろう！！ ～ボランティアを日常に～」をテーマに開催しました。

学生団体おりがみ、りこボラ！の学生が主に企画・運営を担当し、環境パートナーシップちばは、後方支援を心がけ、2023年12月からオンラインでの会議を重ねてきました。会議のスタートは、年末、1月は後期テスト（学生）など多忙な中、合間を縫って、貴重な時間とメールで準備しました。短期間でしたが、9団体が発表してくれました。

Ⅰ部の活動紹介では、それぞれの団体の活動内容は濃く、各団体10分でしたが、もっと聞きたいなと思いました。また、長年活動している団体では、交代しながら継続して行く事の工夫等他団体にも共有していました。

Ⅱ部は、発表団体への質問と会場参加者間での交流会を開催しました。約5人ぐらいのチームを作り、それぞれを紹介し合いました。交流会持ち時間で2回グループでの交流ができ、お互いを知る機会となりました。もっと時間が欲しいな！と思いました。

※当日の団体紹介資料は、環パちばのHPに載っていますので、ご覧になってください。

SDGs 学生フォーラム in ちば (2024年2月18日) – 特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば
(kanpachiba.com/20240218forum)

・・・後日学生フォーラムの振り返り会を
オンラインで行いました。・・・

①準備期間

- ・途中テスト期間が入った。短い期間だったが、良かった。

②感想

- ・表者の内容は良かった。学生と大人の意思共有できた。
- ・フォーラム担当の先輩から後輩へ繋いでいくのも大事。
- ・高校生は大学生の発表を聞くのも、今後の活動などへ期待できるのでは。

③発表団体から

- ・貴重な機会をありがとうございました！帰り道、メンバーみんなで改善点がたくさん見えてきたねと、参加してとても良かったと話し合いながら帰りました。来年度もあれば、またぜひ参加させていただきたいです
- ・運営に携わるのも素敵ですね。今後もよろしくお願いします。

④次回への改善

- ・次回へ向けて、告知を早くする。2月開催だと12月中には告知する。
→フォーラム準備は10月スタート。
- ・各団体紹介後に質疑応答(10分)があると良い。→フォーラムの意見交換会の時間を今年よりは長くした方がよい。



開催報告 SDGs・ESD 公開フォーラム

SDGs・ESD をより広げ、持続可能な社会づくりに向けて実行しましょう！

開催日：2024年3月9日（日）午後 14：30～16：50
会場：千葉市生涯学習センター小ホール

当会は、地球環境基金の助成金事業を 2018 年度～2023 年度の 6 年間、千葉県内で展開してきました。2018 年からの 3 年間は、「SDGs を達成するための ESD 担い手育成事業。」2021 年からは「SDGs・ESD をひろげるための“ちば”拠点づくり」。これまでの事業を振り返り、これからに向けてのフォーラムを開催しました。

まず、6 年間の事業振り返ったあと、6 年間ファシリテーターとして関わっていただいた石井雅章氏（神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授）に「6 年間で振り返り次のステップを考える」について講演していただきました。石井氏からは「6 年間たくさんの事業をやりましたね。

成果として、具体的な場所と経験に根付いた活動をしているお互いを知り、連携・協働できる状態に近づいたこと。今後へ向けては、企業へのアピール、学校の総合的な探求の時間などと繋ぐ事も必要」とのことでした。

パネルディスカッションに入る前に、山口俊也氏（プロデザインスタジオ）から、南房総市や千葉市の海岸での GOGO ボランティア活動、横山清美氏（浦安水辺の会）から、浦安三番瀬での活動を聞きました。島田幸子氏（関東 ESD 活動支援センター）は、関東地域の旗振り役としての SDGs・ESD への取り組みについてお聞きしました。

パネルディスカッションでは、活動を共有して情報が見えるような展開が必要。企業への PR 活動も必要。活動するには経費も必要なので、連携できる機会を見つける。等などいろいろ前向きな意見がありました。

最後に「環境パートナーシップちばからの提言」をお伝えし、これまでの感謝と共に、今後も、拠点の皆さまと一緒に作っていきましょうとフォーラムを閉めました。

..... 提 言

1. ESD 地域リーダーの活躍の場を応援する
 - ① 活動報告を「だより」に掲載
 - ② 困ったことの相談に乗り、解決の糸口を見つける協力をする
 - ③ 活動の集客を応援する（HP や SNS で拡散）
 - ④ ESD 地域リーダーの活動が地域の SDGs につながっていることを明確にして、だよりに掲載する。
2. SDGs 拠点が見える形の応援をする（年に 1 回開催）
 - ① SDGs ユース活動発表交流会の開催（地域の団体・高校生向け）10月
 - ② SDGs 学生フォーラムの開催（高校生・大学生向け）2月
 - ③ SDGs 公開フォーラムの開催 3月
3. 地域拠点会議の応援をする
 - ① オンライン会議場の提供
 - ② 拠点と拠点を繋ぐオンライン会議場の提供
 - ③ 拠点会議の報告を HP に掲載

.....
お問合せ：特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば <https://kanpachiba.com/>
e-mail: info@kanpachiba.com Tel: 090-8116-4633

この事業は、地球環境基金の助成を受け実施しています

